

2018年度

龍谷大学里山学研究センター研究会

北小松用地問題を考える — 阪本寧男氏を招いて —

大津市北小松にある山林「北小松用地」を保有する大阪市水道局が同用地の売却の方針を打ち出しました。それに対して近隣自治会は慎重な対応を求める要望書を提出するなどしています。この北小松用地について、龍谷大学における里山学研究の大先輩、阪本寧男氏をお招きし、植物相の特徴、水源涵養や環境保全上の価値などについてお話しいたします。

「北小松用地」問題は、高度成長期以降繰り返されてきた里山問題の一つの典型ともいえるべき様相を呈しています。当該「里山」の自然科学的な評価を前提としつつ、その社会的な価値をどのように評価するか、また当該「里山」の帰趨をめぐる決定に誰がどのように関わるべきかなど、自然科学、社会科学の両面から議論したいと思えます。

また、龍谷大学における里山学研究的道を拓いてこられた阪本氏に、里山と関わるきっかけやその後のご関心の在処など、阪本氏の「里山学」についてもお聞きします。

日時：2018年 **10月14日(日)**

14:00~16:30

場所：龍谷大学深草学舎

紫英館(6号館)2階 東第2会議室

講師：**阪本寧男氏**

(元龍谷大学国際文化学部教授・京都大学名誉教授)

「北小松用地問題について」



龍谷大学深草学舎地図



The Research Center for
Satoyama Studies

— 龍谷大学里山学研究センター —

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

TEL: 075-645-2184

FAX: 075-645-2240

E-mail: satoyamagaku@ad.ryukoku.ac.jp

当日は休日のため、紫英館正面口の扉は閉鎖されています。
里山学研究センターの研究会にご参加される方は、**南側通用口**
(守衛室前)からお入りください。

